



高坂進ニュース

日本共産党
市川市議団
高坂進個人版
2014. 4. 8
第10号

市川市大洲
4-14-9
727-
9821

2月議会 市民負担増と 大型開発の推進

新たな投資と大型開発

市川市の一年間の予算を決める2月議会が3月24日で終わりました。大久保市長が再選されて初めての予算議会ということで、市政方針で市長は「これまでは前市長から引き継いだ大型プロジェクトの着実な推進を行ってきたが、これからは新たな投資を始めていく」として武



蔵野線大野駅、法典駅間に新たな駅の設置(最低で40億円はすべて市の負担)、新駅周辺のスマートシティ開発、スポーツタウン構想、そして、国分への道の駅構想など大型プロジェクトの推進を正面に掲げました。

公民館の値上げ

2500円から1800円

一方では昨年9月に市政戦略会議の答申で出された公民館使用料の1時間当たり、2500円の場合は1800円、当面1000円までの値上げという方針に基づいて26年度中の値上げ、そして、国民健康保険の健全化という名の値上げの方針など市民負担増を打ち出しました。

「市長には大きな権限がある市長がきめて当然」と答弁

私は日本共産党市議団を代表して市の提案する予算、条例などへの代表質疑を行いました。代表質疑で「ガーデニングに1億7700万円も使う前にやることがあるのではないか」「市長直轄の経営改革室を作るというがなぜ市長直轄なのか。市長の権限は強くなりすぎないか」「新駅設置、スマートタウン構想、道の駅などは市民から意見を聞いたのか。また、これから中止する選択肢があるのか」など12項目にわたって質疑をしました。市長直轄の経営改革室の設置については「選挙で選ばれた市長には大きな責任と権限がある。事務長ではないんだから市長がきめて当然」と答弁。

新駅設置、スマートタウン、道の駅については「市民の意見は今まで聞いていない。計画ができたなら市民に示していく。構想を実現していくような計画を作っていく、中止の選択肢は考えていない」と答弁。市民の声を聞く前に大型開発計画はどんどん進めていく姿勢を示しました。



公民館等施設の値上げ 反対の署名が始まりました

値上げに市民から 批判の声次々と

市長は、武蔵野線の新駅設置、スマートシティ、そしてスポーツタウン、国分への道の駅など大型開発の取り組むことを宣言しましたが、一方では、昨年の9月に市長の諮問機関である市政戦略会議が市の施設の使用料の大幅な値上げを答申しました。この内容は公民館を例にとると現在1時間当たり2500円の使用料を1800円に、当面は1000円まで引き上げるようにというものです。公民館を初め、動植物園、市民プール、スポーツ施設、文化会館など市の施設全般の使用料が対象です。市は、当初2月議会で値上げのための条例提案を行うとしていましたが、市長選挙をはじめとして公民館の値上げに対する市民からの批判が大きことから、方針を転換し、26年度中に条例提案をすると変えました。しかし、今回の施政方針でも値上げは着実に進めていくとしています。

交換をしてきました。この会議には、公民館利用者協議会の会長さんなども参加し、「市民の税金で作ったのにこんなに値上げするなんて許せない。何としても止めさせていこう」怒りの声をあげました。参加者全員で署名運動を行うことを決めました。

早速、署名用紙を作り、6月議会への提出を行うために署名運動を始めました。150ほどの団体にも呼び掛けの文書やビラ、署名用紙を送り、呼びかけました。何としても公民館等の値上げをやめさせるために当面6月議会に500人以上の署名を目標に取り組んでいます。

一人でも多くの署名を議会に提出するようがんばりましょう。

6月議会に 5000名以上の署名を

この間、公民館などを日常的に使っている団体などに呼び掛け、意見



一般質問 国民健康保険税引き上げはするべきではないと質問

一般質問では国民健康保険税を27年度に引き上げる方向が示され、今回の議会では国民健康保険問題の質問が私以外にも3名が行いました。3名とも国保財政の健全化を図れという内容でしたが、私は国民健康保険の現状と値上げをやめるようにという主張をしました。現状では、国民健康保険税の滞納世帯率が23.95%、滞納者への制裁として短期保険証の発行は5000件を超え、半年後、保健相が本人に届いていない世帯が2000件を超えていることなどが答弁され、さらに、正規保険証の場合には1年間で1人当たりの病院にかかったレセプト数が24枚なのに短期保険証の場合には5枚となり、受診率が大幅に減るということが数字で答弁されました。このような状況の中での国民健康保険税の値上げは、さらに滞納者を増やし、必要な医療が受けられない人が増やすだけです。憲法25条か

らみても絶対に値上げはするべきではないことを主張しました。4月23日には早速、国保連

官邸前行動に みんなで参加を

東日本大震災から3月11日で3年が経ちました。福島第一原発からは高濃度の汚染水が漏れ続け、子供たちの甲状腺ガンは深刻で、収束どころではありません。そんな中、安倍政権はエネルギー基本計画で原発の推進、再稼働にかじを切ろうとしています。私もこの間、福島へのボランティア、毎月11日に



行う市川駅前でのさよなら原発市川ネットワークの宣伝、そして金曜日の首相官邸前抗議行動と、私たち世代の未来に対する責任として参加してきました。とくに、官邸前、国会前行動は首都圏反原発連合という若い人

営協議会が開かれ、論議されることになっていきます。たちが主催しています。ドラム隊にラップ調と若者ならではの行動に、各団体、サークル、個人、そして、全国から駆けつける人たちもいます。彼らのコールの中に、「再稼働反対」「日本のどこにも原発いらぬ」「絶対認めないぞ」などの純粋な彼らの言葉は、より重く心に響きます。若者が頑張っている姿を見るのは、とても心地よいものです。第2、第3金曜日、5時半、市川駅集合で行きます。是非、皆さん、一緒に行ってみませんか。大洲 高橋 和代

江戸川で ピースアクション

いま、平和を守る日本国憲法が、安倍首相によって、解釈改憲されようとしています。「南

市川9条の会」と(江戸川区9条の会「憲法を守ろう」のプラカードを掲げ、JR総武線電車乗客に向けて、今年も「ピースアクション」を行います。4月27日、午前10時15分から江戸川よ

りの河川敷で行います。どなたでも参加できますので、ぜひ、ご参加ください。終了後市川側河川敷で、ワンコイン焼き鳥交流親睦会を行います。八幡 小山 森二

買い物ができる 地域づくりを

市内の大和田地域は、今外環道路工事の真っ最中で、トラックやブルドーザーの稼働が月曜から土曜日まで毎日続き、ところかまわず市内の緑と環境を破壊する工事が続いています。昨年12月の市議会を高坂市議会議員が、これまでも主張してきた「地域住民が買い物に行ったりするための大和田地域にコミュニティバスの運行をしてほし

い」という主張を再度行ったところ、「路線バスのおとつていとところとの距離が近い、外環道路の供用開始で交通状況などの様々な問題がある」などという答弁でした。今後も小型のコミュニティバスが巡回でき、買い物などができるように運動を続けていきたいです。大和田 東 福一



健康友の会花見の会 車いすなどで66名

市川市民診療所健康友の会が毎年行っている花見のの会が4月6日、午前11時から大洲防災公園で行われました。リフトカーなどでの送り迎えで車いすで参加する人も含め、70名ほどの参加でした。市民診療所

らくの歓談の後、在宅のかたへの花束の贈呈が行われました。そのあと、参加者全員委で「青山脈」や「ふるさと」の歌を歌ったり、江戸川までの散歩、防災公園の散策などが行われ、最後に、参加していた日本共産党の岡田幸子県議会議員の閉会の挨拶で花見は終わりました。朝は雨、花見が終わった後も雨が降り、花見が終わった後も雨

